

『サステナブル・イノベーションダイアログフォーラム』

— あなたが暮らしの中で叶えたいと心の底から思っていることを事業にして実現する—

サステナブル・イノベーションズ株式会社

代表取締役社長 池邊純一

2017年1月

1. 目的 心豊かな暮らしの実現（社会の持続可能な発展と企業の持続可能な成長）

当フォーラムに参加される皆様のお一人ひとりが「やりたい」「やらずにられない」と思っていることを、フォーラムの中で語り合いながら広げてもらい、ビジネスの深掘りと拡大を図って参ります。

大事なことは、「やりたい」「やらずにられない」の奥底にある『なんのために』であり、それが『心豊かな暮らしの実現』として『社会の持続可能な発展』と結び付いて『企業（貴社の皆様）の持続可能な成長』につながっていけばと考えております。

2. 基本思想 サステナブル（持続可能）

『サステナブル』は、「今」の「目の前のこと」を合理的に解決することではありません。「今だけでなく将来の私達」の「目の前のその先にいる人が叶えたいと思っていること」をビジョン化し実現していくことです。当然のことながら、目の当たりにしている問題への私達の認識は不十分かも知れず、問題意識の問題を深掘りしなければならないこともあります。問題をマクロに一般化して捉えず、一人ひとりの日々の暮らしに着目することも必要です。具体的には、一人ひとりの（あなたが）暮らしの中で叶えたいと心の底から思っていることを、その背景にある社会問題や社会的ニーズとすり合わせて深掘りし、ビジネスによって実現していくシナリオを描いていくことになります。

3. 一人ひとりが暮らしの中で叶えたいこと ミクロな視点からの発想への転換（共感の深化と協創）

「共感」「共生」という言葉をしばしば耳にします。しかし、マクロ経済、マクロマーケティングの発想では、きめ細かな心遣いを掴むことはできませんし、ステレオタイプな取り組みでは、問題の解決にはつながりません。『サステナブル』を「持続可能な開発」と訳す人もいますが、他者に働きかけて、何かを他の何かに変えていくのでは一過性となり、また、「言われたことをする」という習慣を生み出すだけです。

「共感の深化」は、頭で考えた共感ではありません。相手と同じ目線で感じ、その感動を心の底から分かち合う過程を通して起こってくるものです。深化した共感、上から目線で相手を変えようとはせず、共生することで一緒に解決していききたいという協創の心への変化を生み出します。本当の『サステナブル』は、一人ひとりが暮らしの中で叶えたいと心の深層で感じていることへの「共感の深化」と「協創の心」によって、内発的に自ら変えていく「持続可能な発展」の過程によって実現されていきます。

4. 進め方

心が発する言葉による対話（ダイアログ）は、「共感の深化」と「協創の心」を実現させていく重要なプロセスです。『サステナブル・イノベーションダイアログフォーラム』は「共感の深化」と「協創の心」を通して、叶えたいと心の深層で感じていることを広げていくためのプラットフォームとなります。

- 『なんのために』の深層への問いかけと対話による深掘り（問題意識と目的の深層分析と共感の深化）
- 『Before-After』と行動計画（アジェンダ）の共有（持続可能な発展のビジョンの共有）
- 『なんのために』でつながる人の輪、ロコミの輪の創造（協創する心の伝播）



経済格差が社会問題となっています。一方、これまでの経済性という発想を、社会の持続可能な発展という発想に転換すると、そこには、誰にとっても平等に心豊かさを求める世界が広がっていきます。

皆様の奮ってのご参加をお待ち致します。

以上